

天井クレーン運転士安全衛生教育受講報告

工作部門 土木建築実験機器管理班 松山利和

1. はじめに（目的等）

私が所属する班ではコンクリートや鉄骨・木材などの材料を用いた実験のサポートを行っている。それらの重量物を運搬するためには天井クレーンが必要不可欠であり、運転するためには天井クレーン運転士の資格が必要である。

その資格取得から 5 年以上が経過し運転を行っているが、改めて安全衛生教育を受講することでクレーンの各装置について改めて学習し、日頃の作業を安全に行うことを目的とし受講した。

2. 期間・場所

期間：令和 3 年 8 月 10 日

場所：三菱重工株式会社 広島製作所 観音工場

3. 参加者等

受講者 約 10 名

4. 研修内容

I.最近のクレーンと安全装置

・構造と制御機構 ・安全装置など

II.クレーンの取り扱いと保守管理

・操作方法 ・作業計画 ・点検、整備

III.災害事例及び関係法令

・労働安全衛生法等関係法令 ・災害事例の原因とその対策

5. まとめと感想

本研修では様々なクレーンの紹介から、それらに搭載される設備の説明など、クレーン運転士の資格を取得する際に学習したことの復習であったが、改めて各設備の構造等を理解することができた研修であった。

また資格取得から 5 年以上経過しており、その間に発生した災害事例の紹介などを受けて改めて労働災害の怖さを感じた。年々事故発生件数は減少傾向にあるものの、いまだに事故件数が 0 件までには達していないので、クレーンの運転のみならず他の業務でも労働災害を無くさないといけないという自覚を改めて持つことができた。